

コンクリートがれき有効利用技術

1. 技術の名称		ブランチブロックによる擁壁	
2. 有効利用技術の区分			
①処理方法	<input type="checkbox"/> 無処理 <input type="checkbox"/> 分別 <input checked="" type="checkbox"/> 破碎 寸法: <input type="checkbox"/> 300mm以上 <input checked="" type="checkbox"/> 300mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 100mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 40mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 20mm以下 <input type="checkbox"/> その他 破碎方法() <input type="checkbox"/> その他		
②用途	<input type="checkbox"/> コンクリート用骨材 <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> 路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (中詰め材)		
②その他			
3. 技術の内容			
①基本的考え方			
<ul style="list-style-type: none"> ・枝状のコンクリート二次製品(ブランチブロック)をハニカム状に組み合わせその隙間に石材を詰めて擁壁を構築する技術 ・中詰め材は、岩ずりと混合して、コンクリート・瓦・レンガ等の再生資材が利用可能 			
②対象とするコンクリートがれき	すべてのコンクリートがれきを対象	 <p>ブランチブロック形状</p>	
③技術の概要(処理方法、使用材料、機械設備等)	枝状コンクリート二次製品		
④本技術を活用し、得られた目的物の性状等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然石とコンクリート製品によって一体化された堅固な石積みもたれ式擁壁 ・曲線施工・天端の高さ変化や法勾配等、様々な現場の形状に対応可能 ・基礎・胴込めコンクリート等の生コンクリートが不要 ・施工スピードが極めて速く、短期間での施工が可能で、経済性に優れる ・石の隙間に植物が育ち、生物が生息して自然環境・生態系の保全が可能 		
⑤利用先・用途(実績等) * 適用できない場合なども含めて記述	道路・河川等の擁壁、砂防・堰堤の護岸擁壁 災害復旧工事(2010,台湾) 盛土・切土法面の土留め擁壁		
⑥特許・技術審査証明・NETIS登録状況等	NETIS登録番号: CG-050005-V 農業農村整備新技術候補 ARIC: 申請中		
⑦コスト	20,000~28,000 円/m2 (参考) ・大型コンクリートブロックより経済性に優れている ・コンクリート・瓦・レンガ等の瓦礫利用でコストダウンが可能		
4. 意見等			
5. 連絡先			
会社名	株式会社フジタ	担当者	石村 玄二
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2	所属・役職	建設本部土木エンジニアリングセンター 設計部長
		TEL	03-3796-2299
		E-Mail	ishimura@fujita.co.jp